

福生市環境基本計画実行計画

29

(平成 29 年度実行計画進捗状況)

◆福生市環境基本計画実行計画

分野別施策	P 1
第 1 節 自然の保全・再生	P 1
1 自然の水循環、多摩川の保全・再生	P 1
2 都市の自然の保全・再生	P 2
第 2 節 潤い豊かな安心できるまちの創造	P 3
1 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	P 3
2 安心して歩ける道・緑のまちづくり	P 5
第 3 節 暮らし方の変革・地球システムへの適合	P 6
1 ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	P 6
2 地球環境問題・公害等への取り組み	P 8

計画の推進・環境まちづくりの展開	P 13
------------------	------

第 1 節 環境教育・学習の推進	P 13
------------------	------

◆福生市環境基本計画実行計画の策定について

1 目的

この福生市環境基本計画実行計画（以下「実行計画」という。）は、福生市環境基本計画第2期中期実施計画に定める目標及び市の具体的な取り組みを着実に推進するため、実行計画として策定した。

2 実行計画の内容等

- (1) 本実行計画は、福生市環境基本計画第2期中期実施計画の基本目標達成のための具体的な取り組み事項及びその内容、計画年度等を明らかにした。
- (2) 平成29年度の実行計画の実施状況、進捗状況进行评估し、表中に記載する。

【評価基準】

実施評価		指標評価	
実施できた（100%）	A	順調に進んでいる（100%）	①
おおむね実施できた（80%）	B	ほぼ順調（80%）	②
やや実施できた（50%）	C	多少低調気味（50%）	③
未実施	D	低調	④
		評価せず（年度の数値が取れない場合）	⑤

- (3) 協働事業については★を記載する。
- (4) 当該年度以降継続して実施、検討、研究をするものは、「継続」とする。
- (5) 当該年度決算の[]書きは、福生スクラム・マイナス50%協議会決算である。

3 推進体制

- (1) 本実行計画は、福生市環境事業推進会議が進行管理し、進捗状況を福生市環境審議会に報告し、意見を求める。
- (2) 本実行計画の進捗状況については、市のホームページにより市民に公表する。

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施内容	実施評価	決算額(円)	会計区分				管理指標				指標評価
							部	課	係							款	項	目	事業	指標	基準値	目標値	29年度 数値	
1	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水量・流量の改善	19	①水質汚濁防止	水質汚濁防止の啓発	都市建設部	道路下水道課	下水道グループ	継続	広報による周知を年2回実施する。	広報による周知を年2回実施した。また市内事業者に対しても、下水道法に基づく特定施設の届出・水質管理を継続して指導を行った。	A	876,229	下水道	管渠費	下水道管理事務費	下水道管理事務						
2	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水量・流量の改善	19	②河川維持水量の確保	河川維持水量の確保要請	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	継続	河川維持水量の確保に向けて、17区市で構成する「多摩川整備促進協議会」を通じて年1回国土交通省へ要望を行う。	河川維持水量の確保に向けて、多摩川整備促進協議会を通じて国土交通省に要望した。	A	0					河川維持水量(羽村取水堰放流水)	4 m ³ /秒	4 m ³ /秒		⑤	
3	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水量・流量の改善	20	③湧水の保護	湧水の保護の情報収集	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	継続	拜島段丘の崖線に連なる湧水群及びその周辺環境保護に向けて、多摩川沿岸の8市によって構成される「多摩川由来の崖線の緑を保全する協議会」に年2回参加することにより、保全の取組について情報収集を行う。	多摩川由来の崖線の緑を保全する協議会に2回参加し、保全の取組について情報収集を行った。	A	0										
4	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水量・流量の改善	20	③湧水の保護	湧水地点水質調査	生活環境部	環境課	環境係	★継続	法政大学山崎研究室と協働して、湧水の保全のため、湧水の水質調査を行う。1年間を通して湧水地点5箇所と多摩川の水質調査を行う。実施回数は2ヶ月に1度の6回を予定。	2ヶ月に1度(偶数月)に、湧水地点5箇所と比較試料として多摩川の水質調査を行った。今年度、湧水の枯渇から調査を中止した1地点については目視により状況の確認を行った。 実施回数：6回	A	0					湧水地点数	9か所	9か所	9か所	②	
5	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水量・流量の改善	20	④地下水のかん養・冠水防止	地下水のかん養・冠水防止	都市建設部	道路下水道課	下水道グループ	継続	一般宅地での雨水浸透ます・浸透施設の設置助成及び、宅地開発における雨水浸透施設設置の指導を行います。	雨水浸透ます6箇所(32個)助成額778,000円 雨水貯留槽2基 助成額83,000円	A	861,000	下水道	管渠費	下水道整備費	雨水管渠整備事業						
6	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水量・流量の改善	20	④地下水のかん養・冠水防止	地下水揚水量報告事務	生活環境部	環境課	環境係	継続	東京都環境確保条例に基づき、地下水の揚水量指導に努めます。	東京都環境確保条例に基づき、地下水揚水量報告書の提出と揚水規制業務、地盤沈下対策のため適正使用指導を行う。	市内15事業所から地下水揚水量報告書の提出とともに、適正使用について指導を行った。	A	0				河川環境や水循環に関心をもち、生活の中で配慮している市民の割合	—	36.30%		⑤	
7	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水量・流量の改善	20	⑥水循環の学習促進	水循環の学習	都市建設部	道路下水道課	下水道グループ	継続	小学生を対象に平成29年8月上旬に下水道施設見学会(多摩川上流水再生センター及び小平市ふれあい下水道館)を実施する。	下水道の啓発活動として、市内の子どもを対象に下水道施設見学会を実施。 日時 8月8日 見学場所 多摩川上流水再生センターふれあい下水道館 参加人数 子ども11名 大人9名	A	0	下水道	下水道総務費	下水道管理費	下水道事務						
8	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の保全・再生	多摩川の防災、河川生態系の保全	21	①水害予防対策	河川防災施設の整備	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	継続	用水堰による堆積土砂の除去や護岸などの補修・補強の実施および生態系に配慮した工法の採用について、継続して関係機関に働きかけます。	用水堰による堆積土砂の除去や護岸などの補修・補強の実施および生態系に配慮した工法の採用について、17区市で構成する「多摩川整備促進協議会」を通じて年1回国土交通省へ要望を行う。	堆積土砂の除去や護岸などの補修・補強の実施および生態系に配慮した工法の採用について、多摩川整備促進協議会を通じて国土交通省に要望した。	A	0									

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施内容	実施評価	決算額(円)	会計区分				管理指標				指標評価
							部	課	係							款	項	目	事業	指標	基準値	目標値	29年度 数値	
9	自然の 保全・ 再生	自然の水 循環、多 摩川の保 全・再生	多摩川の 防災、河 川生態系 の保全	21	市民の防災意識の高揚に向けて、防災マップ・ハザードマップの普及や広報等による平時の情報提供に努めます。	防災意識の高揚	総務部	安全 まちづくり課	防災係	継続	実施場所：安全安心まちづくり課、総合窓口課 実施方法：窓口来庁者及び市内転入者に対し随時配布、市政出前講座の依頼に基づき配布、ホームページへの掲載等 ※29年度においては、国が指定する洪水時浸水想定区域について、これまでの計画想定に加えて、「想定し得る最大規模の降雨」による浸水想定区域の追加があったため、これを周知するための市内洪水・内水ハザードマップの改定と全戸配布を行う。	29年度において、窓口等にて配布する防災マップの増刷(2,000部)を実施するとともに、国が新たに指定を追加した想定最大規模の洪水時浸水想定区域を周知するため、これを反映したハザードマップを作成し、8月に全戸配布を行った。	A	1,954,490	消防費	消防費	防災対策費	災害対策事業						
10	自然の 保全・ 再生	自然の水 循環、多 摩川の保 全・再生	多摩川の 防災、河 川生態系 の保全	21	福生水辺の楽校の学習プログラムや多摩川サポーターズ等の活動を通し、川とその周辺の自然環境、生きものへの親しみ、生物多様性への理解を深めます。イベント等の参加者がより主体的に学習や保全活動などを継続できるよう働きかけます。	福生水辺の楽校、多摩川サポーターズ	生活環境部	環境課	環境係	★	レベルアップ	福生水辺の楽校の学習プログラム等を通し、川とその周辺の自然環境、生きものへの親しみ、生物多様性への理解を深める。福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」(12回)、「多摩川サポーターズ」(4回)で、多摩川に生きる生物や植物について自然観察を行い、多摩川への理解を深めるプログラムを実施。平成29年度は「小・中学校における多摩川の総合学習支援」として、多摩川や自然を題材とした総合的な学習の時間において、体験活動や授業の支援を行う。(概ね30回)	多摩川に生きる生物や植物について自然観察を行い、多摩川への理解を深める体験学習を実施した。雨天や河川増水のため、室内用プログラムを2回実施した。また、小学校で多摩川を題材とした総合的な学習の時間において支援を行った。福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」全12回、参加者679人。福生水辺の楽校「多摩川サポーターズ」全4回、参加者42人。「小・中学校における多摩川の総合学習支援」全29回、参加者1,849人	A	2,000,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業	水生生物調査による水質判定階級	I(きれいな水)	I(きれいな水)	I(きれいな水)	①
11	自然の 保全・ 再生	自然の水 循環、多 摩川の保 全・再生	多摩川の 防災、河 川生態系 の保全	21	市民による河川一斉清掃を行い河川植生の再生などを支援。	河川一斉清掃	都市建設部	施設公園課	施設公園グループ	★	継続	6月の環境フェスティバルに合わせ、多摩川中央公園沿い河川敷において、市民による河川清掃を実施する。また、この事業は国土交通省の多摩川クリーン作戦の一環として、京浜河川事務所と協働で事業を行う。	・実施場所 多摩川中央公園沿い河川敷 ・実施日 6月4日(環境フェスティバルの一環として実施) ・参加者 109人 ・実施量 可燃ごみ及び不燃ごみ 60kg	A	0									
12	自然の 保全・ 再生	自然の水 循環、多 摩川の保 全・再生	多摩川の 防災、河 川生態系 の保全	21	多摩川に残された生育地において市民、研究者、行政が協力しカワラノギクの絶滅を回避するため、保全・復元作業を行う。	カワラノギク保全活動	生活環境部	環境課	環境係	★	継続	多摩川に残された生育地において市民、研究者、行政が協力しカワラノギクの絶滅を回避するため、保全・復元作業を行う。年4回	カワラノギクの保全・復元をめざす「カワラノギクプロジェクト」の周知及び保全活動に参加し、河川植生の再生などを支援。保全活動のボランティア募集広報とともに年4回に渡って延べ71名が活動に参加した。	A	0									
13	自然の 保全・ 再生	自然の水 循環、多 摩川の保 全・再生	多摩川の 防災、河 川生態系 の保全	21	多摩川をフィールドとした環境学習・研究活動や情報発信の拠点として、川の志民館の管理運営を行います。	川の志民館管理	生活環境部	環境課	環境係	継続		多摩川をフィールドとした環境学習・研究活動や情報発信の拠点として、川の志民館の管理運営を行う。	川の志民館の常時集中監視及び、異常を感知した際の対応。実施状況を月単位で報告。利用者1,113人。	A	163,944	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業	川の自然観察等への参加者数	584人(H26)	680人	721人	①
14	自然の 保全・ 再生	都市の自然の 保全・再生	4つの自然軸の 保全	23	東京都景観保全条例による規制、福生市宅地開発等指導要綱による指導と合わせ、保存樹林制度の継続、緑地保全地区の指定などにより、樹林地等の保全と開発抑制を図ります。	樹林地等の開発抑制・保全	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	継続		緑確保の総合的な方針(東京都)に基づき樹林地等の保全に努める。樹林地で開発が行われる場合には、福生市宅地開発等指導要綱に基づき、緑化や植樹の指導を行う。	福生市宅地開発等指導要綱に基づき6件の協議を行い、緑化や植樹の指導を行った。	A	0					市域に占める空から見た緑と水の割合	28.6%(H25)	現状維持		⑤
15	自然の 保全・ 再生	都市の自然の 保全・再生	4つの自然軸の 保全	23	福生市の緑を守り育てる条例に基づき、保存樹林地地区の指定、生垣保存協定補助を継続します。また、生垣や保存樹林地の保全活動を所有者以外の市民が支える方策を検討します。	保存樹林地指定制度	生活環境部	環境課	環境係	継続		福生市の緑を守り育てる条例に基づき、保存樹林地等の指定及び奨励金の交付を行い、緑を保全する。	保存樹林地等の指定及び奨励金の交付。宅地介在山林(4件・6筆・2,300㎡)、一般山林(2件・3筆・669㎡)、保存樹木(38件・173本)、保存生垣(138件・144箇所・延長2,890m)	A	3,131,906	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業	保存樹林地面積	6,149㎡(H26)	現状維持	2,969㎡	③

No	環境基本計画体系				頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施内容	実施評価	決算額(円)	会計区分				管理指標				指標評価
								部	課	係							款	項	目	事業	指標	基準値	目標値	29年度 数値	
16	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	4つの自然軸の保全	①樹林地等の開発抑制・保全	23	福生市の緑を守り育てる条例に基づき、保存樹林地地区の指定、生垣保存協定補助を継続します。また、生垣や保存樹林地の保全活動を所有者以外の市民が支える方策を検討します。	生垣保存協定補助制度	生活環境部	環境課	環境係	継続	福生市の緑を守り育てる条例に基づき、生垣の設置にかかる費用を補助し、緑を保全する。	生垣の設置にかかる申請なし	A	0	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業	保存生垣延長	3,143m(H26)	現状維持	2,890㎡	③	
17	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	4つの自然軸の保全	①街区公園等の維持管理	24	緑の基本計画に基づき、市街地の身近な公園を適正に維持管理します。また、公園ボランティア等の情報交換を促進し、公園や雑木林における生物多様性の状況の共有、公園の特性に応じた管理方法の検討、活動に対する支援情報の提供など、公園ボランティア制度の充実を図ります。	街区公園等の維持管理	都市建設部	施設公園課	施設公園グループ	★継続	市街地の身近な公園を適正に維持管理するために、公園ボランティアと協働で清掃、除草等を行い、公園内の美化に努める。また、公園ボランティアに対する支援(用具の支給、ボランティア保険の加入)を実施し、公園ボランティア制度の充実を図る。	・活動内容 ごみの収集、除草、樹木・花壇の維持管理、情報提供等 ・実施場所 市内公園・児童遊園 ・登録人数 387人、11団体(平成30年3月末現在)	A	92,676	土木費	都市計画費	公園費	公園管理事務	市と市民の協働によって緑と水の質が高められている場所	43か所(H25)	49か所(H35)	36か所	①	
18	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	4つの自然軸の保全	②自然再生事業の展開	24	都市計画公園や都市緑地などの樹林地や草地などにおける萌芽更新など自然再生の取り組みを推進します。従来の植生に配慮し、その場所に適した手法による保全を進めます。行政、市民ボランティア、委託事業者の役割と作業分担を明確にし、効果的な取組を進めます。	自然再生事業の展開	都市建設部	施設公園課	施設公園グループ	★継続	都市計画公園や都市緑地などの樹林地の自然再生の取り組みを推進する。また、文化の森(福生公園)、みずくらいど公園、加美上水公園についてはボランティア団体により、下草刈りや落葉清掃、外来種の除去等、樹林地の再生に取り組んでいるが、高木の剪定等、専門性が求められる場合は、業者委託により作業する等、役割分担を明確にし、効果的な取り組みを進めていく。	・福生萌芽会：文化の森(福生公園)にて実施 年12回(平均11名) ・福生加美上水公園自然塾：加美上水公園にて実施 年28回(平均8人) ・水喰土ボランティア：みずくらいど公園にて実施 年20回(平均6人) ※ただし、月1回の活動の他に、花いっぱい運動や落葉掃きなど随時の活動もあり。	A	92,676	土木費	都市計画費	公園費	公園管理事務	市域に占める利用できる水と緑の割合	10.3%(約106ha)(H25)	10.9%(約112ha)(H35)	10.3%(約106ha)	②	
19	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	4つの自然軸の保全	③生態系の調査・研究の推進	24	東京都アライグマ・ハクビシン防除実施計画に基づき、アライグマとハクビシンの捕獲防除を行い、生態系の保全、農業被害の予防を図ります。また、市民と協働した防除活動のあり方について検討を行います。	外来生物防除委託	生活環境部	環境課	環境係	★継続	市民からの情報提供を受けるため定期的な広報掲載を行うとともに、委託によりアライグマ、ハクビシンの捕獲防除を行う。	アライグマ7匹、ハクビシン5匹を捕獲。罠は6箇所11基を設置。	A	394,200	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務						
20	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	4つの自然軸の保全	③生態系の調査・研究の推進	24	地域猫の会の取り組みを拡大し、飼い主のいない猫の適正な飼養管理を推進するとともに、飼い主のモラル向上を働きかけます。	地域猫去勢・不妊手術費助成金	生活環境部	環境課	環境係	★継続	地域猫の会がモデル地区の飼い主のいない猫に対して、給餌や糞尿処理などを行い、去勢・不妊手術を行い、飼い主のいない猫の適正な飼養管理を行っていく。福生地域猫の会定例会等で情報共有を図り、地域猫の取り組みが拡大するよう地域猫制度等のPRに努めるとともに、飼い主のモラルの向上を働きかける。	団体に去勢・不妊手術費の助成を行った。オス48頭、メス31頭 計79頭	A	644,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務						
21	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	①自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	25	まちづくり景観推進連絡会などの推進体制により、自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用を進めます。	景観まちづくり事業の推進	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	★継続	まちづくり景観推進連絡会に参加することにより、自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用について研究する。	まちづくり景観推進連絡会に12回参加し、自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用について検討した。また、まちづくり景観推進連絡会主催でまちづくり景観フォーラムを1回開催し、平成29年度の活動報告や意見交換を行った。	A	101,536	土木費	都市計画費	都市計画費	都市景観事業	地区計画策定数	2件(H25)	3件(H31)	3件	①	

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施内容	実施評価	決算額(円)	会計区分				管理指標				指標評価	
							部	課	係							款	項	目	事業	指標	基準値	目標値	29年度 数値		
22	潤い豊かな心安けなまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	①自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	25	樹木診断や害虫駆除等の適切な管理を実施することにより、多摩川堤防沿いの桜の長寿命化と保全を図ります。	多摩川堤防沿桜管理	都市建設部	施設公園課	施設公園グループ	継続	多摩川堤防沿いの桜の剪定や害虫駆除を実施し、長寿命化を進め、文化的景観資源の保全を図る。 (平成29年度予定) 多摩川堤防沿い桜80本剪定	多摩川堤防沿いの桜の長寿命化と保全を図るための措置を行った。 ・実施量 軽剪定80本、不要枝剪定158本 ・実施時期 平成29年7月～平成30年3月	A	2,052,000	土木費	都市計画費	公園費	公園管理事務						
23	潤い豊かな心安けなまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	①自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	25	市民ボランティアガイドによる市内文化財ツアー等の実施により、市民等を対象とした学習機会を提供します。	市民ボランティアガイド事業	教育部	生涯学習課	文化財係	★継続	市内文化財ガイドツアーの実施(年3回程度)	市内文化財ガイドツアーを実施した。(年3回)	A	0	教育費	社会教育費	生涯学習推進費	保護展示事業						
24	潤い豊かな心安けなまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	②屋外広告物の規制	25	違反広告物撤去協力員制度を継続し、道路沿線の捨て看板、街中の貼り紙など景観を阻害する違反広告物の撤去を進めます。	違反広告物撤去協力員制度	都市建設部	道路下水道課	管理グループ	★継続	市内道路において、違反広告物除却を行う。	違反広告物撤去協力員20団体128名貼り紙の撤去336件を実施した。	A	0										
25	潤い豊かな心安けなまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	③清潔で美しいまちの維持	26	町会・自治会による統一美化キャンペーンを継続するとともに、廃棄物減量等推進員の機能強化や道路美化ボランティア等との連携について検討し、ごみが捨てられにくい環境を維持します。	清潔で美しいまちの維持	生活環境部	環境課	ごみ対策係	★継続	清潔で美しいまちづくり重点地区を見回り調査し、清潔で美しいまちづくりの推進を図っていく。町会・自治会の一斉清掃を継続する。	清潔で美しいまちづくり事業委託にて市内清掃と条例周知を行った。週3回、4人で巡回。町会・自治会一斉清掃実施。参加人数1,662人。	A	5,298,829	衛生費	清掃費	清掃費	清潔で美しいまちづくり事業	福生らしい景観の保全に満足している市民の割合	43.0% (H26)	50% (H32)		⑤	
26	潤い豊かな心安けなまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	③清潔で美しいまちの維持	26	道路美化ボランティア制度などにより、市民と協働した維持管理の拡充を図ります。	清潔で美しいまちの維持	都市建設部	道路下水道課	管理グループ	★継続	市内道路において、道路美化ボランティア団体に随時から年数回、道路清掃等を行ってもらう。道路美化ボランティア団体からの年度末の活動報告に基づき、道路清掃に必要な消耗品等の支給を行う。	道路美化ボランティア16団体352名	A	0										
27	潤い豊かな心安けなまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	③清潔で美しいまちの維持	26	住民の福祉及び連帯意識を高め地域活性化につなげるため、町会・自治会が行う各種事業を支援します。	地域活性化交付金事業	生活環境部	協働推進課	協働推進・男女平等推進担当	★継続	地域社会のコミュニティ組織である町会・自治会が主体的に行う各種事業に対し、交付金を交付する。	32団体 9,000,976円	A	9,000,976	総務費	総務管理費	協働推進費	町会等活動支援事務						
28	潤い豊かな心安けなまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	玉川上水沿いの遊歩道	①玉川上水沿いの遊歩道	27	国指定史跡文化財「玉川上水」を市全体の歴史的環境・自然環境保全のシンボルとして捉え、景観推進連絡会及び玉川上水・熊川分水に関わる市民団体と連携して散策コースの検討を進めます。	玉川上水沿いの遊歩道	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	★継続	玉川上水沿いをできるだけ活かした散策コースについて、市民団体と検討のあり方を研究する。	散策コースについて、引き続き市民団体と検討している。 また、「玉川上水遊歩道を考える会」が作成したパンフレットを市内の玉川上水沿いの2か所に設置した。	B	0										
29	潤い豊かな心安けなまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	玉川上水沿いの遊歩道	②散策路のネットワーク化	27	緑の多い安心して歩ける道、玉川上水や熊川分水をはじめとする歴史的・自然的景観資源と市街地を結ぶことで、福生の自然・歴史に親しみながら市内に賑わいを生み出す散策ルートを検討し、発信します。	散策路のネットワーク化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	★継続	玉川上水や熊川分水をはじめとする歴史的・自然的景観資源と市街地を結ぶ散策ルートについて、市民団体との検討のあり方を研究する。	散策ルートについて、引き続き市民団体と検討している。	B	0										

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施内容	実施評価	決算額(円)	会計区分				管理指標				指標評価	
							部	課	係							款	項	目	事業	指標	基準値	目標値	29年度 数値		
30	潤い豊かな心でまちの創造	豊かな心でまちの創造	潤い豊かな心でまちの創造	30	緑の多い安心して歩ける道、玉川上水や熊川分水をはじめとする歴史的・自然的景観資源と市街地を結ぶことで、福生の自然・歴史に親しみながら市内に賑わいを生み出す散策ルートを検討し、発信します。	散策路のネットワーク化	生活環境部	シティセールス推進課	まちの魅力創造グループ		継続	多摩・島しょ地域への観光客の誘客促進を目的として、市内駅前8箇所を毎年順番に観光案内板を書き換えている。公園グループでも同様の散策ルートを策定しており、既存のルートと差別化を図りつつ、市内の和洋の文化を活かした散策ルートを構築していく。	東京観光財団の補助金を活用し東福生駅西口の観光案内看板の書替を実施した。インバウンド向けに四ヶ国語で標記した多言語対応としており、観光客誘導のため、主要な観光資源を回る散策コースを記載した。	B	453,600	商工費	商工費	商工費	まちの魅力推進事業						
31	潤い豊かな心でまちの創造	豊かな心でまちの創造	潤い豊かな心でまちの創造	31	熊川分水の保存や水辺の環境整備、安全な歩行空間づくりのモデル的な取り組みを実施し、熊川分水の保全に努めます。	熊川分水を活かすまちづくり	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		継続	熊川分水の土地所有者より無償使用承諾を受け、市が管理改修を行う「熊川分水保全事業」を実施する。福生市まちづくり景観条例に基づき、熊川分水の一部を景観重要資源に指定する。平成29年度は10箇所を目標とする。	熊川分水の土地所有者の了解が得られた9か所、449mを福生市まちづくり景観条例に基づき、景観重要資源に指定した。	B	2,376,000	土木費	都市計画費	都市計画費	都市景観事業	熊川分水の保全予定区間における協定締結数	2か所	6か所	9か所	①	
32	潤い豊かな心でまちの創造	豊かな心でまちの創造	潤い豊かな心でまちの創造	32	熊川分水の保存や水辺の環境整備、安全な歩行空間づくりのモデル的な取り組みを実施し、熊川分水の保全に努めます。	熊川分水を活かすまちづくり	都市建設部	道路下水道課	道路グループ		継続	熊川分水保全事業の実施状況に基づき、必要に応じて補修を行う。	維持補修を実施した。(2箇所)	A	509,760	土木費	道路橋りょう費	道路橋りょう費	道路改良事業						
33	潤い豊かな心でまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	安心して歩ける道・緑のまちづくり	33	バリアフリー推進計画に基づき、関係機関等と連携して公共施設、公園、道路、公共交通など、まちのバリアフリーを総合的に進め、誰もが安心して生活し、移動できる都市づくりを目指します。	バリアフリーの推進	福祉保健部	社会福祉課	庶務・福祉計画担当		継続	管理指標を念頭に、引き続きもくせい会館建築事業におけるバリアフリー化の推進を図る。	情報提供を通じて意識啓発を行い、当該建築事業のバリアフリー化を図った。	A					公共施設のバリアフリー化率	5/16施設(H25)	8/16施設(H31)	7/16施設	①		
34	潤い豊かな心でまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	安心して歩ける道・緑のまちづくり	34	商工会と連携した経営支援及び創業支援、商店街等で実施されるイベントの支援、商店街を含む回遊型観光の情報発信などを通じて、商店街の振興を図ります。	中心商業地区の安全化・快適化	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ		継続	商工会の個別相談等について福生市認定創業支援事業計画に組み込み、創業支援の協力体制を維持するとともに立川・昭島・福生の三市連携で行う創業支援(セミナー15回程度)を行う中でコミュニティビジネスに相当する創業者に対し、補助を実施する。	三市創業支援事業協議会におけるセミナー13回(うち認定創業支援事業対象セミナー8回)、コミュニティビジネス支援事業補助金交付決定者1名(マタニティマッサージ&ケア:妊産婦等の不安や悩みを病院だけに持ち込むには限界がある中での妊産婦と産前産後のケア活性化とそこから繋がるコミュニティの拡大)	A	225,000	商工費	商工費	商工費	商工業振興事業	コミュニティビジネスの新規創業数(累計)	2件(H26)	8件(H32)	5件	②	
35	潤い豊かな心でまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	安心して歩ける道・緑のまちづくり	35	地域や警察署と連携し、交通規制、道路構造の改善など様々な工夫により、生活道路の安全化を推進します。	生活道路の安全化	都市建設部	道路下水道課	管理グループ・道路グループ		継続	狭あい道路の解消等安全で快適な道路空間の確保に努める。また、必要な箇所については交通管理者との協議を行い、交通規制等対応をする。	通学路点検などから市内の危険箇所や補修を必要とする箇所を定め交通管理者と協議のうえ、安全対策を検討した。	A	0				バリアフリー対応歩道の市道延長	6,788m(H25) 279路線(H26)	8,859m(H31) 274路線(H31)	8,698m 279路線(H29)	①		
36	潤い豊かな心でまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	安心して歩ける道・緑のまちづくり	36	耐震改修促進計画に基づき、市内の建物の耐震化を進めます。	市内の建物の耐震化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		継続	昭和56年以前に建築された木造住宅に対し、耐震診断及び耐震改修の費用の一部を助成する。平成29年度は耐震診断5件、耐震改修2件を目標とする。	昭和56年以前に建築された木造住宅1件に対し、耐震診断費用の一部を助成した。	C	100,000	土木費	都市計画費	都市計画費	都市計画事業						
37	潤い豊かな心でまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	安心して歩ける道・緑のまちづくり	37	緑あふれる市街地形成のため、宅地開発等指導要綱に基づく事業者への指導を行うとともに、地区計画等による地域の緑化を促進します。	住宅や事業所などの緑化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		継続	福生市宅地開発等指導要綱に基づき、該当の開発行為には、敷地の一部を緑化するよう指導を行う。	福生市宅地開発等指導要綱に基づき、7件の協議を行い、うち該当する4件について、敷地の一部を緑化するよう指導を行った	A	0				緑視率	約3%(H25)	約8%(H35)		⑤		

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施内容	実施評価	決算額(円)	会計区分				管理指標				指標評価
							部	課	係							款	項	目	事業	指標	基準値	目標値	29年度 数値	
38	潤い豊かなまちの創造	安心して歩ける道のづくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	②公共施設等の緑化	公共施設については可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進します。国や都の公共施設における積極的な緑化を要請します。	公共施設等の緑化	都市建設部	まちづくり計画課			継続	公共施設については、可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進する。緑の基本計画に基づき保全に努める。	緑の基本計画に基づき保全に努めた。	A	0									
39	潤い豊かなまちの創造	安心して歩ける道のづくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	②公共施設等の緑化	公共施設については可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進します。国や都の公共施設における積極的な緑化を要請します。	公共施設等の緑化	都市建設部	施設公園課			継続	・もくせい会館建設事業 ・新扶桑会館整備事業	・もくせい会館建設事業 会館新築に伴い、緑化を実施した。 ・新扶桑会館整備事業 会館新築に伴い、緑化を実施した。	A	291,247,800円 209,242,000円									
40	潤い豊かなまちの創造	安心して歩ける道のづくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	②公共施設等の緑化	公共施設については可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進します。国や都の公共施設における積極的な緑化を要請します。	公共施設等の緑化	教育部	教育総務課			継続	・防災食育センター整備事業	東京における自然の保護と回復に関する条例第47条第5項の規定に基づく整備を実施した。	A	1,066,376,440	消防費	消防費	防災対策費	防災食育センター管理費					
41	潤い豊かなまちの創造	安心して歩ける道のづくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	③生産緑地の保全・活用	農業振興計画に基づき、生産緑地など農地を保全するとともに、営農への意欲向上を図るなど都市農業への支援策を検討します。	市民農園整備	生活環境部	シティセールス推進課			継続	市民農園を整備していくことで農地保全に努める。また、平成28年度から実施している観光案内所くるみるふっさでの地場産野菜の直売(くるみるやさい市)を継続し、販路拡大、営農意欲の向上を図ることで、農業者に対し農地保全を促す。	定期更新に伴う市民農園整備工事を実施した(熊川東150区画、福生加美75区画、南田園第二17区画)。なお総区画数は熊川東186区画、福生加美80区画、南田園第二17区画であり整備工事区画差し引き分は市民農園協会会費により支出した。くるみるやさい市は月1回第3土曜日に実施した。	A	937,440	農林水産業費	農業費	農業費	市民農園管理事務	市域における農地の減少率	年平均3%(H12-22)	年平均2%(H23-32)	年平均1.99%(H23-29)	②
42	潤い豊かなまちの創造	安心して歩ける道のづくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	④花や緑のあるまちづくり	花いっぱい運動など市民団体や町会・自治会による取り組みを支援するとともに、花苗の生産委託により市内農家の支援を継続します。	ふっさ花いっぱい運動委託	生活環境部	環境課			環境係	継続	ふっさ花とみどりの会へ委託し、花いっぱい運動(春・秋の2回)に合わせた花植えやコンテストを行う。(一部については福生スクラム・マイナス50%協議会事業として行う)	A	732,000 [35,384]	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業					
43	潤い豊かなまちの創造	安心して歩ける道のづくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	④花や緑のあるまちづくり	花いっぱい運動など市民団体や町会・自治会による取り組みを支援するとともに、花苗の生産委託により市内農家の支援を継続します。	花壇管理委託	生活環境部	環境課			環境係	継続	多摩川中央公園、長徳寺崖線、福生野球場内の花壇を管理し花や緑あふれるまちづくりを展開する。	A	518,400	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業					
44	潤い豊かなまちの創造	安心して歩ける道のづくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	④花や緑のあるまちづくり	花いっぱい運動など市民団体や町会・自治会による取り組みを支援するとともに、花苗の生産委託により市内農家の支援を継続します。	草花苗生産委託	生活環境部	シティセールス推進課			産業活性化グループ	継続	花いっぱい運動にかかる町会等団体へ配布する草花苗を市内農業者により生産を行い農業振興、農業者支援を行う。	A	7,610,900	農林水産業費	農業費	農業費	農業振興事業					
45	暮らし変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	ごみの発生抑制・処理負担の適正化	①ごみを減らす生活の呼びかけ	ごみ問題や取り組み成果の情報を分かりやすく発信するとともに、ごみの発生抑制につながる消費行動や事業活動を呼びかけるため、市民の目に届く手法を工夫します。	ごみを減らす生活の呼びかけ	生活環境部	環境課			ごみ対策係	継続	ごみの発生抑制のため、無駄なものは断る・買わないから始め、大切に使うこと、不要となった場合の有効利用を考慮した消費行動・事業活動を、広報ふっさ、清掃だより等により呼びかける。	A	768,157	衛生費	清掃費	清掃費	清掃事務	ごみ排出量(資源ごみを除く)(1人1日当たりごみ排出量)	16,277 t (760.9 g)	15,000 t (H31) (728.7 g)	15,652 t (733.5 g)	②

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施内容	実施評価	決算額(円)	会計区分				管理指標				指標評価
							部	課	係							款	項	目	事業	指標	基準値	目標値	29年度 数値	
46	暮らし 変革・地球 システムへの 適合	ごみの発生抑制・ 資源化・適正処理 の推進	ごみの発生抑制・ 処理負担の 適正化	2	事業系一般廃棄物の 減量	事業系一般廃棄物の 減量	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続		事業系一般廃棄物処理計画書の指導など事業活動に伴う一般廃棄物の効果的な排出抑制につながるレジ袋削減、簡易な包装などごみになるものの削減の工夫や減量を、事業所に対して呼びかける。また、拡大生産者責任に基づく事業者責任の強化・明確化を関係機関へ要請。	各事業所から事業系一般廃棄物処理計画書を提出していただくことにより、ごみ減量と資源化を呼び掛けた。また、拡大生産者責任の明確化と「EPR(生産者責任法)」の整備について国に要請されたい旨東京都市長会に継続要望した。	A	0									
47	暮らし 変革・地球 システムへの 適合	ごみの発生抑制・ 資源化・適正処理 の推進	ごみの発生抑制・ 処理負担の 適正化	3	ごみに関する学習 機会の提供	ごみに関する学習 機会の提供	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続		小学生を対象とした環境教育の推進。小学校4年生の社会科学習に活用するため「ごみのゆくえ」を作成する。	社会科の授業の副読本として市内全小学校へ445部配布した。	A	71,280	衛生費	清掃費	清掃費	ごみ減量対策事業					
48	暮らし 変革・地球 システムへの 適合	ごみの発生抑制・ 資源化・適正処理 の推進	資源化・適正処理 のためのシステム 構築	1	分別による資源化	分別による資源化	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続		ごみの適切な資源化・処理が行われるように、排出時点での混入を防止するため分別・収集区分を明確化します。新たな資源化品目の追加について検討します。	平成26年4月から全てのごみ・資源を自宅及び集積所から排出することにより、ごみの分別の徹底を図った。廃棄物減量監視事業を年4回実施。	A	65,520	衛生費	清掃費	清掃費	収集運搬事業	総資源化率	37.00%	42.0% (H31)	35.70%	③
49	暮らし 変革・地球 システムへの 適合	ごみの発生抑制・ 資源化・適正処理 の推進	資源化・適正処理 のためのシステム 構築	2	バイオマス資源化	バイオマス資源化	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続		生ごみの堆肥化や剪定枝の資源化に向けた収集・資源化等処理方法を研究し、有効利用されるよう努める。環境フェスティバルにおいて、コンポスト等の周知により、生ごみの堆肥化の啓発、生ごみ処理機器購入費補助。	市民から分別収集した剪定枝を資源化した。(13t) 生ごみ堆肥化容器を貸与した。(11基) 生ごみ処理機器購入費補助を実施した。(6件)	A	517,880 213,686	衛生費	清掃費	清掃費	中間処理事業 ごみ減量対策事業					
50	暮らし 変革・地球 システムへの 適合	ごみの発生抑制・ 資源化・適正処理 の推進	資源化・適正処理 のためのシステム 構築	3	地域リサイクル システムの強化	地域リサイクル システムの強化	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続		資源回収実施団体報償金制度を継続し、地域リサイクルシステムを強化する。	資源回収実施団体に対し報償金を交付した。資源回収実施団体79団体、実施回数1,028回	A	14,153,804	衛生費	清掃費	清掃費	ごみ減量対策事業					
51	暮らし 変革・地球 システムへの 適合	ごみの発生抑制・ 資源化・適正処理 の推進	資源化・適正処理 のためのシステム 構築	3	地域リサイクル システムの強化	フリーマーケット	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続	★	市民団体等が実施するフリーマーケットの開催について広報・ホームページによる周知支援を行う。	広報周知：6回 ホームページによる周知（実施日時確定時に更新）	A	0									
52	暮らし 変革・地球 システムへの 適合	ごみの発生抑制・ 資源化・適正処理 の推進	資源化・適正処理 のためのシステム 構築	4	適正な中間処理・ 最終処分 の推進	適正な中間処理・ 最終処分の推進	生活環境部	環境課	ごみ対策係	レベルアップ		理め立てごみを減らすためにリサイクルセンターでの選別の徹底及び不燃廃棄物の資源化の実施。また、し尿処理の堆肥化の検討。	理め立てごみを減らすためにリサイクルセンターでの選別の徹底及び不燃廃棄物等の資源化を実施した(34t)。また、し尿処理の堆肥化の検討を行った。	A	1,711,483	衛生費	清掃費	清掃費	中間処理事業					

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施内容	実施評価	決算額(円)	会計区分				管理指標				指標評価
							部	課	係							款	項	目	事業	指標	基準値	目標値	29年度 数値	
53	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等への 取り組み	地球温暖 化対策へ の取組み	①地球温 暖化対策 の枠組み の明確化	33	市域の温室効果ガス排出量は、オール東京62市区町村共同事業が公表する最新の推計データを利用し進捗管理を行います。また、市有施設の温室効果ガス排出量は、市地球温暖化対策実行計画に基づき、進捗管理を行います。エネルギー需給構造やエネルギー制度改革などの大きな社会情勢の変化や市の重点政策（定住化促進、再開発等）の成果を踏まえて、市のエネルギー政策の長期的方向性について情報収集を行います。	地球温暖化対策の枠組みの明確化	生活環境部	環境課	環境係	継続	市域の温室効果ガス排出量は、オール東京62市区町村共同事業が公表する最新の推計データを利用し進捗管理を行う。また、市有施設の温室効果ガス排出量は、「第3次福生市地球温暖化対策実行計画」に基づき進捗管理を行う。	オール東京62市区町村共同事業が公表する最新の推計データを利用し、市域の温室効果ガスの進捗管理を、「第3次福生市地球温暖化対策実行計画」に基づき、市有施設の温室効果ガス排出量の進捗管理を実施した。	A	0					市民一人当たりのCO2排出量(横田基地分を除く民生家庭部門)	1,189kg-CO2(H24)	784kg-CO2	1,042kg-CO2	②
54	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等への 取り組み	地球温暖 化対策へ の取組み	①地球温 暖化対策 の枠組み の明確化	33	市域の温室効果ガス排出量は、オール東京63市区町村共同事業が公表する最新の推計データを利用し進捗管理を行います。また、市有施設の温室効果ガス排出量は、市地球温暖化対策実行計画に基づき、進捗管理を行います。エネルギー需給構造やエネルギー制度改革などの大きな社会情勢の変化や市の重点政策（定住化促進、再開発等）の成果を踏まえて、市のエネルギー政策の長期的方向性について情報収集を行います。	福生市環境マネジメントシステム(F-e)	生活環境部	環境課	環境係	★継続	市有施設の温室効果ガス排出量は、福生市環境マネジメントシステム(F-e)により地球温暖化対策を進める。福生市環境マネジメントシステム(F-e)の効果的な運用のために、市民監査委員とともにシステムの見直しを随時図っていく。	市民監査委員を含む監査チームによる本監査(平成30年1月30日から2月1日)の他、環境推進委員会(3回)、目標設定チーム会議(1回)、環境マネージャー会議(2回)、監査チーム会議(3回)の各種会議を実施し、地球温暖化対策の推進を図った。F-e研修として新人研修会(1回)、全職員対象の職員研修会(2日間、全8回)、監査直前説明会を実施。市民監査委員:10名	A	759,800円	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務	市有施設の温室効果ガス排出量(市地球温暖化対策実行計画)	3,967,567kg-CO2(H26)	4,190,723kg-CO2	4,295,085kg-CO2	③
55	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等への 取り組み	地球温暖 化対策へ の取組み	②省エネ ルギーの 促進、ク リーンエ ネルギー への転換	33	地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新改築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー(雨水利用を含む)、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。	みどりのカーテン大作戦	生活環境部	環境課	環境係	★継続	みどりのカーテンを推奨、促進するため、ゴーヤの苗等の配布、講習会を実施し、みどりのカーテンの普及に努める。(福生スクラム・マイナス50%協議会事業)	ふっさ環境フェスティバルでゴーヤの苗配布(800ポット)及びみどりのカーテン講習会の実施。みどりのカーテンコンテスト表彰式を11月6日実施した。20組応募。	A	[144,675]									

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施内容	実施評価	決算額(円)	会計区分				管理指標				指標評価
							部	課	係							款	項	目	事業	指標	基準値	目標値	29年度 数値	
56	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等へ の取 組 み	地球温暖 化対策 への取 組 み	②省エ ネ ル ギ ー の 促 進 、 ク リ ン エ ネ ル ギ ー へ の 転 換	33	地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新改築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー(雨水利用を含む)、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。	福生ま ちなか 涼み 処、福 生ま ちなか 温 み 処	生活 環境 部	環境 課	環境係	継続	家庭での節電を奨励するとともに、公共施設において市民が涼み(温まり)、交流できるスペースを確保し、市民の利用を促す。各施設は、市民が気軽に、気兼ねなく過ごせる工夫をする。公共施設10箇所を実施予定。	家庭での節電対策として、夏季は「福生まちなか涼み処」、冬季は「福生まちなか温み処」を公共施設10箇所を実施した。	A	0									
57	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等へ の取 組 み	地球温暖 化対策 への取 組 み	②省エ ネ ル ギ ー の 促 進 、 ク リ ン エ ネ ル ギ ー へ の 転 換	33	地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新改築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー(雨水利用を含む)、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。	家庭の 省エネ ル ギ ー 情 報 発 信	生活 環境 部	環境 課	環境係	★継続	12月の「地球温暖化防止月間」に合わせ、セミナー及び家庭の省エネ展示を開催。(福生スクラム・マイナス50%協議会事業)	12月の「地球温暖化防止月間」に合わせて12月2日に地球温暖化防止セミナー「ごみの資源化と環境への取り組み」を実施した。また、12月1日と、4日から8日までの間、市役所ロビーともくせい会館にて市民団体と協働し、エコ生活、省エネの普及啓発活動に関連した展示やリーフレットの配布を行った。	A	[24,058]									
58	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等へ の取 組 み	地球温暖 化対策 への取 組 み	②省エ ネ ル ギ ー の 促 進 、 ク リ ン エ ネ ル ギ ー へ の 転 換	33	地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新改築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー(雨水利用を含む)、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。	省エ ネ ル ギ ー の 促 進 、 ク リ ン エ ネ ル ギ ー へ の 転 換	総務 部	契約 管財 課	管財係	継続	建設中のもくせい会館は、太陽光発電設備を設置し発電を行い、再生可能エネルギーへの転換を推進する。また、LED電灯や人感センサーの照明を使用することにより、消費電力の抑制を図ることや植栽をすることによる緑化を進め、地球温暖化対策を図る。	6月に竣工したもくせい会館は、太陽光発電を取り入れ、LED電灯や人感センサーの照明を使用することにより、環境負荷の低減に取り組んだ。また、会館周辺には植栽を行う等緑化を進め、温暖化対策を図った。	A	232,862,000円	総務 費	総務 管理 費	一般 管理 費	もく せ い 会 館 建 設 事 業					

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施内容	実施評価	決算額(円)	会計区分				管理指標				指標評価	
							部	課	係							款	項	目	事業	指標	基準値	目標値	29年度 数値		
59	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等へ の取 組み	地球温暖 化対策 への取 組み	②省エネ ルギー の促進 、ク リー ンエ ネ ル ギ ー へ の 転 換	33	地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー(雨水利用を含む)、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。	省エネ ルギー の促進 、ク リー ン エ ネ ル ギ ー へ の 転 換	都 市 建 設 部	施 設 公 園 課	建 築 グ ル ー プ	継 続	・もくせい会館建設事業 ・福祉センター設備改良事業 ・新扶桑会館整備事業 ・福生第二小学校体育館非構造部材落下防止対策事業	・もくせい会館建設事業 LED照明を導入した。 ・福祉センター設備改良事業 LED照明、コージェネレーションを導入した。 ・新扶桑会館整備事業 LED照明を導入した。 ・福生第二小学校体育館非構造部材落下防止対策事業 LED照明を導入した。	A	291,247,800円 21,276,000円 209,242,000円 66,079,800円										
60	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等へ の取 組み	地球温暖 化対策 への取 組み	②省エネ ルギー の促進 、ク リー ン エ ネ ル ギ ー へ の 転 換	33	地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー(雨水利用を含む)、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。	省エネ ルギー の促進 、ク リー ン エ ネ ル ギ ー へ の 転 換	教 育 部	教 育 総 務 課	学 校 施 設 係	継 続	平成27年度から継続して実施されてきた体育館非構造部材落下防止対策事業において、体育館照明のLED化の実施。平成29年度は、福生第二小学校で実施予定9校目。	体育館非構造部材落下防止対策事業にて、福生第二小学校体育館照明の水銀灯からLEDへの交換を実施した。	A	66,079,800	教 育 費	小 学 校 費	学 校 施 設 費	小 学 校 体 育 館 非 構 造 部 材 落 下 防 止 対 策 事 業						
61	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等へ の取 組み	地球温暖 化対策 への取 組み	②省エネ ルギー の促進 、ク リー ン エ ネ ル ギ ー へ の 転 換	33	地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー(雨水利用を含む)、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。	省エネ ルギー の促進 、ク リー ン エ ネ ル ギ ー へ の 転 換	教 育 部	教 育 総 務 課	学 校 施 設 係	新 規	平成30年度から小中学校空調機の更新事業を計画、省エネ化等を図る予定。平成29年度は福生第三、第五小学校の工事設計を行う。	福生第三、第五小学校の空調機更新工事の設計をCO2排出量を考慮して実施した。	A	19,984,320	教 育 費	小 学 校 費	学 校 施 設 費	小 学 校 防 音 機 復 旧 (復 機) 事 業						
62	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等へ の取 組み	地球温暖 化対策 への取 組み	③省エネ カーの 普及	34	自動車交通による大気汚染物質、温室効果ガスの排出を低減するため、公用車における省エネカー導入を積極的に進めます。	省エネ カーの 普及	総 務 部	契 約 管 財 課	管 財 係	継 続	平成29年度購入する公用車は、軽自動車を購入している。16年経過した車両を買い換えるもので、国土交通省審査値「JC08モード」平成27年度燃費基準達成車とする。	平成29年度は公用車買い替えにより、環境に配慮した国土交通省審査値「JC08モード」平成27年度燃費基準達成車を購入した。	A	1,395,000円	総 務 費	総 務 管 理 費	一 般 管 理 費	車 両 管 理 事 務						
63	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等へ の取 組み	地球温暖 化対策 への取 組み	③省エネ カーの 普及	34	電気自動車の普及促進のため、電気自動車用急速充電器利用サービスを周知し、利用者の拡大を図ります。	電 気 自 動 車 用 急 速 充 電 器 保 守 委 託	生 活 環 境 部	環 境 課	環 境 係	継 続	電気自動車の普及・促進のため、電気自動車用急速充電器を24時間利用可能なサービスを提供する。	電気自動車用急速充電器(有料化)を24時間一般開放し、地球温暖化対策として電気自動車の普及を目的として運用を図った。 利用回数：66回 利用料金：33,000円	A	270,000	衛 生 費	保 健 衛 生 費	環 境 保 全 費	環 境 政 策 事 務						

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施内容	実施評価	決算額(円)	会計区分				管理指標				指標評価		
							部	課	係							款	項	目	事業	指標	基準値	目標値	29年度 数値			
64	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等への 取り組み	地球温暖 化対策へ の組み 組み	④自転車 のまちづ くり	34	自動車依存から自転車使用 の促進を目指し、自転車の まちづくりに取り組みま す。	自転車の まちづく り	都市建 設部	まちづ くり計 画課	計画グ ループ	継続	都市計画マスタープランに基 いて検討す る。	都市計画マスタープランに基 いて検討し た。	A	0											
65	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等への 取り組み	地球温暖 化対策へ の組み 組み	④自転車 のまちづ くり	34	自動車依存から自転車使用 の促進を目指し、自転車の まちづくりに取り組みま す。	自転車の まちづく り	都市建 設部	道路下 水道課	道路グ ループ	継続	福生警察署と協力して、自転 車ナビマ ークの設 置を推進 し、自転 車走行空 間の確保 に組みこ む。	自転車ナビマークを設置する 工事案件 なし。	D	0											
66	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等への 取り組み	地球温暖 化対策へ の組み 組み	④自転車 のまちづ くり	34	自動車依存から自転車使用 の促進を目指し、自転車の まちづくりに取り組みま す。	サイク ルシェア リング事 業	生活環 境部	環境課	環境係	継続	くるみる ふっさを軸とした 「まちなか もてなし 事業」と してサイ クルシェ アリング の運営を 継続す る。※予 算は環境 課所管 分のサイ クルシェ アリング 委託料 (まちな かおもて なし事 業は委託 により実 施し、シ ティセ ールス推 進課と環 境課の共 同事業)	サイクルシェアリング(たっ けー☆☆ サイクル ポート)を 実施した。 貸出返却 拠点:5箇 所、会員: 743名、 シェアリ ング利用: 232,250 円、一次 利用: 121,650 円、収入 総額353, 900円	A	5,735,160	衛生 費	保健 衛生 費	環境 保全 費	環境政 策事務							
67	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等への 取り組み	地球温暖 化対策へ の組み 組み	④自転車 のまちづ くり	34	自転車を安心して快適に利 用できる まちづく りを目指 し、放置 自転車対 策に組み 組みます 。都と連 動した駅 前放置自 転車クリ ーンキャ ンペーン や商店街 への協力 要請、市 内の放置 自転車集 中箇所お ける情報 収集等を 進めます 。	駅前放 置自転車 クリーン キャン ペーン	総務部	安全 安心ま ちづく り課	地域安 全係	継続	駅前放置自転車防止を包含 した、自 転車マ ナーアッ プキャンペ ーンを実 施する。 (福生駅 、牛浜駅 、拜島駅 にて実施 予定) あわせて 東京都と 連動した 駅前放置 自転車ク リーンキ ャンペ ーンを実 施する。 (10月頃 、福生駅 にて実施 予定)	4月7日 福生駅 4月13日 拜島駅 10月24日 福生駅 で実施した。 (4月11日 の牛浜駅 については 雨天中止)	A	0											
68	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等への 取り組み	地球温暖 化対策へ の組み 組み	④自転車 のまちづ くり	34	自転車を安心して快適に利 用できる まちづく りを目指 し、放置 自転車対 策に組み 組みます 。都と連 動した駅 前放置自 転車クリ ーンキャ ンペーン や商店街 への協力 要請、市 内の放置 自転車集 中箇所お ける情報 収集等を 進めます 。	放置自 転車等 対策関 係委託	総務部	安全 安心ま ちづく り課	地域安 全係	継続	通年にお いて、指 導、撤去 、保管業 務をシル バー人 材センタ ーに委託 する。	指導 2,200台 撤去 563台 返還 354台	A	14,734,105	総務 費	総務 管理 費	地域 安全 対策 費	放置自 転車 事務							
69	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等への 取り組み	地球温暖 化対策へ の組み 組み	④自転車 のまちづ くり	34	自転車を安心して快適に利 用できる まちづく りを目指 し、放置 自転車対 策に組み 組みます 。都と連 動した駅 前放置自 転車クリ ーンキャ ンペーン や商店街 への協力 要請、市 内の放置 自転車集 中箇所お ける情報 収集等を 進めます 。	自転車の まちづく り	都市建 設部	道路下 水道課	管理グ ループ	継続	道路上の 通行に支 障となり 、放置さ れた自転 車につい て、道路 法に基づ き、随時 撤去を行 う。	駅周辺300m を除く地 域の放置 自転車47 台を回収 した。	A	0											
70	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等への 取り組み	地球温暖 化対策へ の組み 組み	④自転車 のまちづ くり	34	自転車の安全な利用と自転 車のまち づくりに ついて利 用者の視 点から考 えるきつ かけづく りのため 、主に児 童生徒を 対象に学 習機会を 提供しま す。	自転車の 安全教 室	総務部	安全 安心ま ちづく り課	地域安 全係	継続	中学校に おいて、 スタント マンが事 故現場を 再現する 交通安全 教室を実 施する。 なお、平 成29年 度におい ては、福 生第一中 学校にお いて実施 予定。	中学生交通 安全教室 5月20日 福生第一 中学校で 実施した。	A	257,040	総務 費	総務 管理 費	地域 安全 対策 費	交通安 全対策 事務							
71	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等への 取り組み	地球温暖 化対策へ の組み 組み	⑤公共交 通の利用 促進	34	鉄道・バ スの利便 性向上に 向けた働 きかけを 継続し、 公共交通 の利用促 進を目指 します。	公共交 通の利用 促進	都市建 設部	まちづ くり計 画課	計画グ ループ	継続	JRを含む 公共交通 機関の利 用促進の ため、利 便性向上 等、関係 する協議 会等を通 じて要請 する。 ※予算額 は関係す る協議会 等負担金	JRを含む 公共交通 機関の利 用促進の ため、利 便性向上 等、関係 する協議 会等を通 じて要請 した。 ※予算額 は関係す る協議会 等負担金	A	93,000	土木 費	都市 計画 費	都市 計画 費	都市計 画事務							
72	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等への 取り組み	地球温暖 化対策へ の組み 組み	⑥気候変 動への適 応	34	国の気 候変動適 応計画の 策定動向 を踏まえ 、気候変 動適応策 の検討に 向けた情 報収集を 行いま す。	気候変 動への 適応	生活環 境部	環境課	環境係	継続	国や都の 気候変動 に関する 情報の収 集に努 める。	国や都をは じめ、気 候変動に 関する情 報収集に 努めた。	A	0											

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施内容	実施評価	決算額(円)	会計区分				管理指標				指標評価			
							部	課	係							款	項	目	事業	指標	基準値	目標値	29年度 数値				
73	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等への 取り組み	公害防 止・有害 化学物質 対策	①公害防 止対策の 推進	35	各環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とするとともに、原因者への指導の徹底、市民・事業者への啓発を行います。また、横田基地における騒音被害を低減する要請を継続します。	各種苦 情処理	生活 環境 部	環境 課	環境係	継続	騒音、振動、悪臭などの原因元への指導、生活公害の防止を行い、各種苦情処理について丁寧かつ適切に対応していく。	市民からの苦情について、現場対応を含め迅速に丁寧かつ適切に対応した。(160件)	A	0					環境基準 達成率	別掲	別掲	別掲	②			
74	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等への 取り組み	公害防 止・有害 化学物質 対策	①公害防 止対策の 推進	35	各環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とするとともに、原因者への指導の徹底、市民・事業者への啓発を行います。また、横田基地における騒音被害を低減する要請を継続します。	各種分 析委託 (公 害)	生活 環境 部	環境 課	環境係	継続	多摩川及び下水道(雨水管)で定期的な測定調査・分析を実施する(年8回8箇所)、浮遊粉じん等採取用の機材の設置を行い、3日間計測の後に分析を行う、燃料油(イオウ分)3検体について油中の硫黄の含有量を分析する、大気汚染調査(二酸化窒素)12検体について分析を行う、工場排水1ヶ所において排水基準等項目の分析を行う、地下水汚染調査で市内10ヶ所について環境項目等項目の分析を行う、横田基地より流入している雨水管3ヶ所について環境項目・健康項目等項目の分析を行う。	福生市環境基本条例第8条第1号に基づき、市内における公害の防止のため、各種調査を行った。 ・大気汚染調査 ・浮遊粒子状物質質量及び浮遊粒子状物質中に含まれる重金金属(市内4箇所)、燃料に含まれるイオウ分(3事業所)、二酸化窒素(市内12地点) ・水質調査 ・河川及び下水道(雨水管)(8箇所年8回)、地下水(市内10箇所)、工場排水(1箇所)、雨水管(横田基地流入分3箇所)	A	1,706,400	衛生 費	保健 衛生 費	環境 保全 費	公害 対 策 事 業								
75	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等への 取り組み	公害防 止・有害 化学物質 対策	①公害防 止対策の 推進	35	各環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とするとともに、原因者への指導の徹底、市民・事業者への啓発を行います。また、横田基地における騒音被害を低減する要請を継続します。	航空機 騒音測 定器保 守委託	生活 環境 部	環境 課	環境係	継続	横田基地における航空機騒音を測定するために、年2回、正常に測定できているか点検を委託する(市役所屋上・誘導灯付近)。	市役所屋上・熊川誘導灯付近の航空機騒音測定器の点検を2回実施し、正常に作動していることを確認した。	A	334,800	衛生 費	保健 衛生 費	環境 保全 費	公害 対 策 事 業								
76	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等への 取り組み	公害防 止・有害 化学物質 対策	①公害防 止対策の 推進	35	各環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とするとともに、原因者への指導の徹底、市民・事業者への啓発を行います。また、横田基地における騒音被害を低減する要請を継続します。	自動 車騒 音調 査等 委託	生活 環境 部	環境 課	環境係	継続	(常時監視)：市内でセンサス区間に指定されている幹線道路20箇所(1箇所は毎年)の自動車騒音調査を5箇年以内にすべて行う。環境省に提出する自動車交通騒音対策の資料とする。 (要請限度)：「騒音規制法第17条第1項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令」「振動規制法施行規則第12条」に基づき処理する。 自動車騒音調査(常時監視)：5箇所 自動車騒音調査(要請限度)：5箇所	適正な測定結果が得られる見込みが立たないため、欠測とした。	D	0	衛生 費	保健 衛生 費	環境 保全 費	公害 対 策 事 業								
77	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等への 取り組み	公害防 止・有害 化学物質 対策	①公害防 止対策の 推進	35	各環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とするとともに、原因者への指導の徹底、市民・事業者への啓発を行います。また、横田基地における騒音被害を低減する要請を継続します。	横田 基地 航空 機騒 音 対 策 の 推 進	企 画 財 政 部	企 画 調 整 課	基地・ 渉外 担 当	継続	市議会、横田基地周辺市町及び東京都と連携を取りながら、国及び米軍に対し航空機騒音対策等を要請する。 ※決算額は関係する協議会等負担金	国及び米軍へ要請した。(47回)	A	196,000	総務 費	総務 管理 費	企 画 調 整 費	渉 外 事 務								
78	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等への 取り組み	公害防 止・有害 化学物質 対策	②有害化 学物質 対策の 推進	35	都環境確保条例に基づき事業所報告を指導するとともに、健康への悪影響、生態系のかく乱につながる有害化学物質の情報収集を行い、中小事業者や一般家庭向けに分かりやすい注意喚起を行い、市全体で有害物質の拡散防止に取り組めます。	東京 都 市 環 境 ・ 公 害 事 務 連 絡 協 議 会	生活 環境 部	環境 課	環境係	継続	26市で構成する東京都環境・公害事務連絡協議会への参加し、近隣市との連絡調整・情報共有等を行い、有害物質の拡散防止に取り組む。協議会6回、研修会等3回。	協議会6回、研修会2回に参加。環境に関する法改正や新たな環境問題の対応について、東京都や他市と有用な情報交換を行った。	A	3,000	衛生 費	保健 衛生 費	環境 保全 費	公害 対 策 事 業								
79	暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合	地球環境 問題・公 害等への 取り組み	公害防 止・有害 化学物質 対策	②有害化 学物質 対策の 推進	35	都環境確保条例に基づき事業所報告を指導するとともに、健康への悪影響、生態系のかく乱につながる有害化学物質の情報収集を行い、中小事業者や一般家庭向けに分かりやすい注意喚起を行い、市全体で有害物質の拡散防止に取り組めます。	有害 化 学 物 質 対 策 の 推 進	生活 環境 部	環境 課	環境係	継続	都環境確保条例に基づき事業所報告を指導するとともに、健康への悪影響、生態系のかく乱につながる有害化学物質の情報収集・提供、拡散防止に取り組む。	市内のアスベストやその他有害化学物質等の公害防止を進めるための速やかな情報収集・情報提供・報告等を行った。	A	0												

No	環境基本計画体系	頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施内容	実施評価	決算額(円)	会計区分				管理指標				指標評価
					部	課	係							款	項	目	事業	指標	基準値	目標値	29年度 数値	
80	環境教育・学習の推進 ①学校における環境教育の推進	36	学校での環境教育を充実するため、環境教育を支援する体制の整備を継続します。	環境学習教員研修	生活環境部	環境課	環境係		継続	教員1年目(初任者)、2年目の教員及び環境教育に関心のある小・中学校教員を対象に、福生市の自然と環境について学ぶ環境学習教員研修を実施する。	環境学習教員研修を2回実施した。第1回7月27日「フィールドで学ぶ」水質調査、生物調査、川の安全学習16人、第2回7月28日「福生の自然の変遷」13人 合計29人	A	51,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業					
81	環境教育・学習の推進 ①学校における環境教育の推進	36	学習指導要領に基づく環境教育とあわせて、地域の特色を生かした学校独自の環境学習の取り組みを支援します	理科支援員の配置	教育部	教育指導課	指導係		継続	小・中学校の理科授業における体験的な学習を充実させるため、観察・実験等の支援を行う理科支援員を配置する。 〔配置対象学年〕 小学校(5・6年)、中学校(全年)	理科支援員活動時間:1,237時間	A	1,261,740	教育費	教育総務費	教育指導管理費	理数教育推進事業					
82	環境教育・学習の推進 ①学校における環境教育の推進	36	学習指導要領に基づく環境教育とあわせて、地域の特色を生かした学校独自の環境学習の取り組みを支援します	学校における環境教育の推進	教育部	教育指導課	指導係		継続	小学校4年生の社会科学習において、「ごみのゆくえ」(環境課作成)を活用。各学校で総合的な学習の時間等において、環境教育に係る取組を実施する。	・小学4年生の社会科学習において、資料として「ごみのゆくえ」を活用 ・総合的な学習の時間等に学習活動市民講師を活用(活動回数12回)	A										
83	環境教育・学習の推進 ①学校における環境教育の推進	36	学習指導要領に基づく環境教育とあわせて、地域の特色を生かした学校独自の環境学習の取り組みを支援します	学習指導市民講師による指導	教育部	教育指導課	指導係		継続	学習指導市民講師(NPO法人自然環境アカデミー等)による指導を実施する。	学習活動市民講師活動回数:12回	A	36,000	教育費	教育総務費	教育指導管理費	教育指導事務					
84	環境教育・学習の推進 ②地域における環境学習の推進	36	福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。	ふっさ環境フェスティバル	生活環境部	環境課	環境係	★	継続	環境問題に対する市民の認識を深め、意識の醸成を図ることを目的に、環境月間である6月に「第15回ふっさ環境フェスティバル」を開催する。市民や事業者により組織されたふっさ環境フェスティバル実行委員会により企画・運営を行う。(一部については福生スクラム・マイナス50%協議会事業として行う)	第15回ふっさ環境フェスティバルを6月4日に開催した。学童クラブけん玉ショー、東京農工大学エコレンジャーショー、わくわくほうせい化学実験ショー、おしゃべり南京玉すだれ、警察犬デモンストレーション、スタンプラリー、リユース食器使用によるフードブース出展、ダンボール迷路ほか。 参加団体:47団体 来場者:5,020人	A	1,500,000 [768,204]	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業					
85	環境教育・学習の推進 ②地域における環境学習の推進	36	福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。	福生市の環境	生活環境部	環境課	環境係		継続	環境に関する各種モニタリング情報を収集し、計画の進捗状況を公表するため、「福生市の環境」を発行し、ホームページへ掲載する。	福生市環境白書『福生市の環境 平成28年度版』の発行、ホームページへ掲載した。	A	62,100	衛生費	保険衛生費	環境保全費	環境政策事業					
86	環境教育・学習の推進 ②地域における環境学習の推進	36	福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。	「かんきょう通信」	生活環境部	環境課	環境係	★	継続	環境に関する情報等を発信するため、市民編集員と協働し「かんきょう通信」を発行する。 かんきょう通信の発行(年2回)	かんきょう通信の発行(5月第42号・2月第43号) かんきょう通信編集会議を各3回実施した。	A	464,758	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務					
87	環境教育・学習の推進 ②地域における環境学習の推進	36	福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。	環境学習講座	生活環境部	環境課	環境係	★	継続	近年のごみ問題をテーマに、市民講師による環境学習講座を行う。(福生スクラム・マイナス50%協議会事業)	市民を対象に、環境意識の醸成を図ることを目的とする全2回の環境学習講座を実施した。第1回9月9日 ごみ問題の現状、廃棄物の課題と対応、高齢社会のごみ問題10人 第2回9月30日 ごみ問題の取組と事例、ワークショップ:みんなでごみ対策について話し合おう!10人 合計20人	A	[7,274]									

No	環境基本計画体系	頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施内容	実施評価	決算額(円)	会計区分				管理指標				指標評価
					部	課	係							款	項	目	事業	指標	基準値	目標値	29年度 数値	
88	環境教育・学習の推進			福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。	市民環境大学「ふっさECOカフェ」	生活環境部	環境課	環境係	継続	昨年度に引き続き、畑での農作業体験の他、市内の豊かな水と緑を訪ねて歩き、市内に残された貴重な農地や雑木林で、緑地を守る活動を行う。フィールドワークを中心に全6回開催。	市内に存在する豊かな水、緑をテーマに現地へ赴き自然観察を行うことで、将来的に市民と自然がどのようにかかわっていくのかを考えていく。また併せて自然体験の一環として、自然とともにある食文化、食材を大切に作る工夫について、農作業体験を通して学ぶ講座を全6回実施。延参加者68人	A	702,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業					
89	環境教育・学習の推進			福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。	環境学習推進事業	生活環境部	環境課	環境係	継続	地球温暖化防止月間セミナーを市民団体と協働で開催する。(福生スクラム・マイナス50%協議会事業)	12月の「地球温暖化防止月間」に合わせて12月2日に地球温暖化防止セミナー「ごみの資源化と環境への取り組み」を実施した。また、12月1日と、4日から8日までの間、市役所ロビーとくせい会館にて市民団体と協働し、エコ生活、省エネの普及啓発活動に関連した展示やリーフレットの配布を行った。	A	[24,058]									
90	環境教育・学習の推進			福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。	環境学習推進事業	生活環境部	環境課	環境係	新規	「自然と調和した住みたくなるまち」を視点にした、環境マップづくりを市民団体と協働で行う。(福生スクラム・マイナス50%協議会事業)	10月28日に講師を招き「自然と調和した住みたくなるまち」を視点とし、環境マップ作りのためのセミナーを実施した。	A	[20,410]									
91	環境教育・学習の推進			子どもや親子を対象に、市内外のフィールドにおける学習機会を提供します。	夏休み子ども見学会	教育部	生涯学習推進課	文化財係	継続	夏休み子ども見学会の実施(葛西臨海水族園等年1回)	夏休み子ども見学会を実施した。(葛西臨海水族園・年1回)	A	11,160	教育費	社会教育費	生涯学習推進費	保護展示事業					
92	環境教育・学習の推進			子どもや親子を対象に、市内外のフィールドにおける学習機会を提供します。	地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	白梅分館	★継続	熊川分水たんけん隊 1コース1回	8月13日、子ども・親子を対象に片倉跡地の熊川分水を探索した。熊川分水の水生生物の採集調査や、周辺の原っぱで昆虫等の採集調査を実施し、自然環境の変化を確認した(NPO法人自然環境アカデミーと協働)。自然環境の大切さを考えるだけでなく、熊川分水や片倉跡地の歴史や成り立ちも学んだ(公民館サークル「熊川分水に親しむ会」と協働)。実施場所:片倉跡地(森田製糸跡地) 1コース1回 参加者34人	A	41,847	教育費	社会教育費	公民館費	白梅会館運営事業					
93	環境教育・学習の推進			子どもや親子を対象に、市内外のフィールドにおける学習機会を提供します。	青少年を対象とした体験・学習機会の拡充	教育部	公民館	公民館	★継続	ジュニア自然体験教室 11回 ①キャンププログラムの企画を参加者が主体的に行う。②キャンプ後も定期的に活動し関係を深めながら年間を通じた学習活動を行う	NPO法人自然環境アカデミーと協働で11回実施。事業の中心となるキャンプを「五日市協同村ひだまりファーム」で実施。登山や川遊び、自然観察、自炊などを協力して行い、参加者の自立心・主体性の向上を図った。また、キャンプまでの事前学習・準備や、キャンプ後に家族報告会や多摩川中央公園、八王子市滝山山里山保全地区で自然の地域的・季節的違いを観察し、年間に渡る活動のふりかえりとした。延べ参加者数198人	A	416,964	教育費	社会教育費	公民館費	公民館本館運営事業					
94	環境教育・学習の推進			子どもや親子を対象に、市内外のフィールドにおける学習機会を提供します。	わくわく土曜日「自然観察会」	教育部	生涯学習推進課	文化財係	継続	自然観察会の開催(年2回)	自然観察会を開催した。(年2回)	A	40,000	教育費	社会教育費	生涯学習推進費	保護展示事業					

No	環境基本計画体系	頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施内容	実施評価	決算額(円)	会計区分				管理指標				指標評価		
					部	課	係							款	項	目	事業	指標	基準値	目標値	29年度 数値			
95	環境教育・学習の推進		②地域における環境学習の推進		地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	松林分館	★	継続	だれでもなんでも展での体験コーナー、ワークショップ、伝統文化講座等の開催にあたり、草木、再生紙、古布等を利用した作品作りを実施する予定。講座を通し、限りある資源や物を大切にすることを養う。	ワークショップでは、7月22日に「はすの実で部屋飾りを作ろう」、11月26日に「松の実でクリスマスリースを作ろう」とし、草木を利用した作品作りを実施した。延べ参加者数35人 伝統文化講座では、11月28日から2月20日までの全5回において、古布を使用してつるし雛づくりを実施した。延べ参加者数80人 自然観察教室では、11月26日から3月18日までの全5回において、市内の植物・野鳥観察等を実施した。延べ参加者数27人	A	70,000	教育費	社会教育費	公民館費	松林会館運営事業						
96	環境教育・学習の推進		②地域における環境学習の推進		地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	白梅分館	★	継続	熊川分水に親しむ講座 1コース4回	熊川分水の歴史や地域の人々との関わり、今後の保全と活用を考えた。熊川分水とは何かをまず知ってもらうことに重点を置き「成り立ち」に始まり、分水周辺の現状を含む「自然」、そして過去に立ち返り何故ここに分水があるのかを知る「活用」の2方向から熊川分水というものを学び、最終日に実際に分水を取水口から歩くフィールドワークを行った。 1 コース4回 延べ参加者37人	A	55,000	教育費	社会教育費	公民館費	白梅会館運営事業						
97	環境教育・学習の推進		③環境学習を支える人材の確保		環境学習を支える人材の確保	生活環境部	環境課	環境係	★	継続	協働事業等を通し環境に関する人材の発掘をする。環境に関する市民団体と連携し、情報共有と共に人材の継続的な確保を図る。	環境学習に関する事業、活動を行う福生市環境リーダーを12人認定した。	A	0										

